

令和 7 年度研究推進計画

学校名 東広島市立川上小学校

学校長名 菅 ちあき 印

1 研究主題，研究内容・方法等について

(1) 研究主題

主体的に学ぶ児童を育成する算数科の授業改善
～学び方の指導と自由進度学習の手法を取り入れて～

(2) 主題設定の理由

昨年度は、ユニバーサルデザインのマインドを全教職員が大切にしながら教育実践に取り組むとともに、ユニバーサルデザインの授業の視点を活用して、児童の意欲を引き出す授業や児童の実態に合った授業を展開し、主体的に学習に取り組む児童を育成することを目指した。また、「構築化」の視点では、授業や単元の構成や活動の工夫として、児童に複数の選択肢を与え、児童が自己決定して自ら学びを進める場を設定した授業（自由進度学習の手法）をすることで、学びを自分のこととして捉え、自ら考えて学習を進める児童を育成することを目指した。

多くの児童が自ら学びを進めることができていた一方で、教室の中には、学ぶことができていない児童もいた。学ぶことができていない要因を分析して考えたところ、大きく2つの要因が挙げられた。1つ目は、児童の学びにくさを解消するための環境が不十分であったことである。これは児童実態の分析が十分でなかったことも要因となっている。2つ目は、学び方の指導が不十分だったことである。学び方の指導が不十分な為、児童は分からない問題と出会った時に、何をすればよいか分からずに学ぶことができていなかったと考えた。

そこで本年度の研究は、これまでの研究で培ってきた特別支援教育の考え方を土台として、全ての児童が学ぶことができる環境づくりと学び方の指導を進めていきたい。すべての児童が学ぶことができる環境づくりについては、自由進度学習の手法を用いて、児童に複数の選択肢を与え、児童が自分に合った方法を自己決定できる場を設定する。また、問題提示を工夫したり、学習計画表を児童に開示したりすることで、児童の興味・関心を高め、児童自身が「なぜ学ぶのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を意識しながら、学びを自分事として学び進められるようにしていく。学び方の指導については、まずは学び方を整理して可視化することで、児童が学び方を意識しながら試し、自らにあった学び方を身に付けることができるようにしていく。つまり、学び方の指導を行った上で、児童が学ぶことができる環境づくりをしていくことで、自らの学びを自分で舵取りすることができる主体的な学習者の育成を目指していく。

(3) 研究の仮説

算数科において、学び方の指導を行い、環境づくりを工夫した授業改善を行うことによって、児童は主体的に学ぶことができるであろう。

(4) 研究内容

- 学年部で教材研究、指導案の提案・検討を行う。
- 研究授業において抽出児童（3層からそれぞれ2名）のつまづきや学び方、手立てによる変容を見取り、協議を行う。
- 授業観察を行い、評価カードを通して教員の指導技術を客観的に分析し、改善を図る。
- 研修後に教職員アンケートを行い、研修の改善を図る。

(5) 検証の指標

- 研究授業を実施した単元の単元末テストの知識・技能において、正答率が学校全体で 80%以上になるようにする。
- 単元末テストの知識・技能において、平均 80 点以上の児童を低学年 85%、中学年 80%、高学年 75%以上にする。
- 算数科の学習についての児童生活アンケートで肯定的評価が 80%以上にする。
- 授業研究において授業評価の平均を 4 段階中 3 段階以上にする。

2 検証計画

- (1) 単元末テスト〔授業研究対象単元の単元末に実施〕
- (2) 算数科の学習についての児童生活アンケートの調査〔4 月と 10 月年間 2 回実施〕
- (3) 各授業研究の際、観察した教職員による評価

3 研修計画

- 指導主事を講師として招聘し研修を進める。
- 提案授業による実践的な研究を進める（全学年が提案授業を行う）。
- 全体研の提案授業の説明は全体で行い、提案授業のねらいや手立てを共有しておく。
- 研修部会（学年ブロック）を組織し、各学年の情報を交換する。
- 授業改善のための学年部会を月 3 ～ 4 回程度設ける。
- 研究の検証や分析をまとめ、研究紀要を作成する。

4 月	上旬	理論研修①（4 月 10 日） 今年度の研究及び取組についての確認
	下旬	算数科の学習についての児童生活アンケートの実施・実態把握
5 月	上旬	理論研修②（5 月 1 日）
	中旬	指導案検討①（特別支援学級）
	下旬	理論研修③（講師）（5 月 29 日）
6 月	下旬	全体研指導案説明会（6 月 19 日） 全体研①（特別支援学級）（6 月 26 日）
7 月	上旬	理論研修④（7 月 3 日）
	中旬	研究主任の授業公開（1 週間程度）
	下旬	理論研修⑤（7 月 23 日（水））
8 月	上旬	授業研究の準備
9 月	上旬	全体研指導案説明会（9 月 4 日）
	中旬	全体研②（1 年）（9 月 18 日）
	下旬	全体研指導案説明会（9 月 25 日）
10 月	下旬	全体研③（5 年）（10 月 2 日） 算数科の学習についての児童生活アンケートの実施・実態把握・分析 研究についての教職員アンケートの実施・検証
11 月	中旬	学年研②（6 年）（11 月 27 日）
12 月	中旬	学年研③（4 年）（12 月 11 日） 研究授業の成果と課題を分析・まとめ 研究紀要作成
1 月	中旬	標準学力調査 学年研④⑤（2 年・3 年）（1 月 15 日）
	下旬	研究紀要完成
2 月	上旬	研究紀要を用いた研究の振り返り
2 月	下旬	来年度の研究計画の立案